

## 英語研修に参加される皆様へ

まず初めに、もし来年度も今回同様の研修が実施され、参加者の方々がこの研修報告書を読んでいるとすれば、私はその人たちに「あなたが参加を決めたその選択は、間違いなく正しい！」と言いたい。なんてカッコつけた言い方をしてみたが、私はそれくらい本研修プログラムに参加したことを良かったと思っている。オーストラリアでの非日常生活での経験はもちろんだが、研修を通じて知り合った友人たちはかけがえのないものである。

出発当日、成田空港に集合した時点で私の友人は0であったのが懐かしく思い起こされる。各々少なからず留学に興味を持って集まった仲間達の気心が知れるまでそう時間がかからなかった。この仲間達の存在は留学中かなり私の中では大きな存在であった。かといってずっと彼らと行動を共にしていたわけではない。それでは折角の機会がもったいない。私のホストファミリーは、ホストファザーのCliff、ホストマザーのVivien、孫のデイビット、中国人留学生のジョン、そして私という構成であった。本当に感謝してもしきれないくらい最高のファミリーだ。食事の際、CliffとVivienと話したり、ジョンと食後に語り合ったり、DVDを観たりした時間は自分の経験としても本当に貴重な時間であった。特に家で違和感があったことと言えば、食事の前に皆で手を繋ぎお祈りしてから食べるということだ。宗教上の違いによるものだが最初は驚き、とまどったことを覚えている。その後のCliffが作った手の込んだ料理は本当においしく毎日の楽しみでもあった。またいつの日かこの地へ戻り彼らと再会出来る日を心待ちにしている。すぐにでも行きたいぐらいだ。

パスや大学での出来事は他の参加者が報告書に綴ってくれていると思うので、私は今回の研修に持参したものの、持参すれば良かったものを参考までに書きたいと思う。

～持参したもの～

・Tシャツ 4枚

Tシャツ4枚では足りません。出発当日着て行ったものを含め5枚でしたが、現地で購入したものも追加で着ていました。ホストファミリーによると思いますが、パスでは水が貴重であるため部屋に用意されたバスケットが一杯になったら洗濯するというのが私のステイ先でのルールでした。たくさんの服を持参しなかった私は、事情をファミリーに伝え一杯になる前に洗濯してもらいました。そのときはもちろん快く引き受けてくれましたよ。

- ・ハーフパンツ 3着

ハーフパンツは1着が家用のジャージだったため実質2着であったがこちらも現地にて追加購入した。

- ・下着 4着

下着も4着では足りません。理由は上記のTシャツ同様です。こちらも現地にて追加購入しました。

- ・バスタオル 1枚、タオル 2枚

ホームステイ先では自分用のバスタオルが提供されていたため必要ありませんでしたが、ロットネスト島や海に行く際に持って行ったため、あって良かったと思います。また、お土産としてワインを持ち帰る際にクッションとして有効です。

- ・靴下 4足

靴下は逆にそんなに必要ありません。私はサンダルで生活することが多く毎日履く必要がなかったのが理由です。

- ・シャツ 2枚

長袖のシャツを着て行ったものを合わせると3枚持っていましたが、こちらに関しての必要性は人それぞれだと思います。夜遅くまで市内にいる場合などでは1着持ち歩いていると非常に有効でした。半袖のシャツなんかも有効だと思います。

- ・マウンテンパーカー 1着

雨や朝晩などによる寒い日を想定し、持参しましたが必要ありません。そこまでの寒さではありません。寒い場合でも長袖のシャツがあれば十分でしょう。

- ・靴 2足

履いていった靴プラスでスニーカーを持参しました。スニーカーは必須だと思います。キングスパーク内を歩いて巡る **Excursion** や大学敷地内で畑仕事をするボランティアなどが組み込まれていたため長時間歩いたりする場合やこういった場合に必要不可欠でした。

- ・ビーチサンダル 1足

ビーチサンダル or サンダル必須です。私はパースに着いて翌日にはファミリーにビーチへ連れて行ってもらったためさっそくの使用機会となりましたが、ロットネスト島への **Excursion** もあることですし必要不可欠だと思います。私なんかはビーチサンダルで大学に

も通っていました。

- ・サングラス 1個

これも必須です。日本ではサングラスをする習慣がないため掛けていると浮いてしまいますが、オーストラリアでは掛けていることが一般的です。オシャレなものもそうですが、紫外線から目を守るという意味でも有効なのです。前述のファミリーとビーチに行った際はホストマザーに「サングラス掛けなさい」と言われたぐらいです。ちなみに現地で良く見かけたのはやはり **OAKLEY** と **Ray-Ban** でした。

- コンセント変換プラグ 1個

1個で十分でしたが、もう1個あったらより便利だとは思いますが。

- ・ドライヤー 1個      トラベルショップなどに売っている小型の物がおススメです。

- ・シャンプー、コンディショナー、ボディーソープ、洗顔 1個ずつ

コンビニに売っているトラベルセットなるものを持参しましたが足りません。3週間は意外と長いです。シャンプーに関しては **Reduce shop** にて小さいシャンプーとコンディショナーのセットが \$1 で購入出来たのですが、ボディーソープに関しては小さいボトルでの販売が探した限りではされておらず、友人とシェアしました。持って行くに越したことはないです。ちなみに **Reduce shop** ですが、いろんなところがあり、いろんな物を安く購入できるため便利です。学校近くのショッピングモール内にもあります。

- ・化粧水、リップクリーム      乾燥しているためあると便利でしょう。

- ・デジタルカメラ、スマートフォン (iphone)、各充電器、電子辞書 (必須)

iphone があればデジタルカメラの必要性はあまりないように感じますが、デジカメを使用する方は SD カードも持参していることを確認すべきです。ちなみに私はカードを忘れました。もちろん現地での購入も可能ですが **iphone** で十分でした。

- ・お土産      スカイツリーの描かれたお菓子、飴

話のネタになるような物が良いでしょう。着いたばかりでファミリーと何を話してよいかわからない時の話すきかけ作りだと思ってください。

- ・ヘアワックス、鏡、マスク、頭痛薬、腹痛薬、絆創膏、爪切り、綿棒、ノート 2冊、筆記用具、電動髭剃り、ポケットティッシュ 5, 6個、折り畳み傘、制汗ペーパー、歯ブラシ etc

～持って行けば良かったもの～

- ・水着 必須。準備までして忘れたのは私の不注意でした…現地にて購入しました。

- ・水筒

必須ではないがあると便利です。現地では水もソフトドリンクも非常に高価です。しかし、日中の気温は高い時で 40℃にもなるため熱中症になる危険があります。そこでほとんどの人々が水を持ち歩いているのです。私や多くの人達は 1 度買ったペットボトルを水筒代わりに繰り返し使っていました。

- ・日焼け止め

必須です。特に海に行く際は塗った方が良いでしょう。ロットネスト島にて塗らずに日焼けで悲惨なことになっている友人が何人かいましたから…私は現地にて安い物を購入しましたが、あまり良いものではありませんでした。もちろん高いものであれば良いのでしょうけど日本で買った方がお得だと思います。

- ・SIM ロック解除済みのモバイル WiFi or SIM フリーのスマートフォン

現地ではインターネットの回線契約が定額制ではなくプリペイド制というのが一般的です。プリペイド SIM を購入し、チャージしたものを使用することでいつでもどこでも WiFi が使えるわけですが、そこで必要となるのが SIM ロック解除済みのモバイル WiFi です。現地では Optus、vodafone というのが一般的でしたのでこれらに対応するか (SIM フリーであるかどうか) 事前確認はすべきです。ホストファミリーにモバイル WiFi を借りていた友人もいたためそのような場合は、借りたモバイル WiFi のメーカー同様のプリペイド SIM を購入し、チャージして使用すれば良いでしょう。直接携帯 (スマホ) に SIM を入れて使用したい場合ですが、SIM フリーであることと、SIM カードのサイズに注意してください。(私が使用していた iPhone5 は nano SIM です) ちなみにプリペイド SIM は携帯会社、電気屋、Coles といった大手スーパーでも購入出来ます。

最後にお金に関してです。私は 5 万円換金して持って行きましたが、5～7 万円くらいがちょうど良いかと思います。2 万円近くは交通費として消えることを覚悟しておいた方がいいかもしれません。クレジットカード (VISA) は必須です。

ざっとリストアップしていきましたが参考になればと思います。書き忘れもあるでしょうし、限られた制限内ですのでこれまでとしますが各自必要だと思うものは適宜用意すると良いでしょう。特に女性なんかはまた変わってくる面が多いと思いますのであくまで参考にとします。